

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	
Jtitle	新版 窮理図解 No.30 (2019. 3) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000030-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の 本棚

My favorite books



テラメカニクスの必携書

● Theory of Ground Vehicles

不整地を走行する車両の力学について、特に機械と地面との接触問題 (Terramechanics) を中心に扱っている教科書です。基本的な数式導出から実際の現場を想定した例題や応用事例、数値解析など、幅広い内容を包含しています。初版は 1978 年ですが、近年の研究の潮流や成果を取り入れて版を重ねている良書です (写真は 4th Edition)。

研究員へと導いたモノグラフ

● Mobile Robots in Rough Terrain

私の MIT 時代のボスだった Karl Iagnemma 氏が、自身の博士論文をもとに 2004 年に出版された本です。私は修士 2 年の時にこの本を読み、その文章の明快さと論旨の構成力、広範な研究の内容に凄まじい衝撃を受けました。「この人と一緒に働きたい」と思った一冊で、文字通り自分を研究員へと導いたと言えるモノグラフです。英語論文執筆のための具体的な参考書としても非常に重宝しています。

熟慮断行

● 坂の上の雲

登場人物とほぼ同じ 20 代後半に読破するというタイミングが良かったのか、あるいは、列強に立ち向かうと尽力した当時の日本と、宇宙開発という場で追従すべく奮闘している現在の日本を重ね合わせているのか、何度も読んでしまう作品です。「熟慮断行」という登場人物の生家に飾ってある彼の揮毫による書にも小説のイメージそのままの力強さを感じました。

宇宙機のための図鑑

● Space Flight

この本は、ボストンのダウンタウンの書店で見つけ、思わず衝動買いした一冊です。宇宙＝天文学という図鑑が多い中、この図鑑は、ロケットや探査機といった機械を中心として、宇宙開発の黎明期から現代に至るまでの歴史を綴っています。非常に読み応えがあり、記述も精細であることから、講義でもたまに使用しています。

研究室運営のバイブル

● 独創はひらめかない

画像処理をはじめ多分野で著名な金出先生のモットーや問題解決アプローチなどを知ることができる素晴らしい本です。まるで、本の向こう側から金出先生が話しかけているような錯覚を感じることができます。研究室の運営などにおいて教員が感じる「あるある」が各所に散りばめられているので、私としては楽しく読むと同時に、時に身の引き締まる思いもする本です。

まさに父から息子へ

● ビジネスマンの父より息子への 30 通の手紙

この本は、私が父親から「お前が 30 歳になったら渡そうと思っていたものがある」と言われ、譲り受けた一冊です。著者が自分の息子に当てた手紙をまとめた内容となっており、哲学書のような雰囲気だったり、若干、面映い部分もあったりしますが、物事の捉え方や取り組み方を考えさせられる本です。特に、同書中で著者がシェイクスピアから引用した一節は、私のモットーにもなっています。